



山の手コミ通信

平成30年
3月15日
NO.45
年度末特大号



会長のごあいさつ

山の手コミュニティ協議会 会長 横山 義男

日頃より、山の手コミュニティ協議会の活動に多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

新年のご挨拶でも申し上げましたが、安心安全なまちづくり、防災防犯、福祉や環境美化など、これからのまちづくりは単一の自治会では限界があり、対応が難しい時代となりました。高齢者への生活支援を見ても行政だけでは難しく、できないと言う前にどうやったらできるのか、地域の皆さんと一緒に地域課題を解決するという矢代田小学校区の全体を考えたまちづくりが求められています。

議論するだけで行動しなければ地域は何も変わりません。ますます、コミュニティ協議会の役割が重要となっています。

今年は例年になく大雪のため、地域の除雪隊が15回も歩道の除雪に出動しました。雪のため子どもたちが登校できず休校する学校がある中、矢代田小学校の児童は歩道除雪ボランティアの活躍で、安心して通学することができました。それ以外にも、要援護者や高齢者の一人暮らし宅の除雪もボランティアによって行われました。

このように地域の期待に応えられるコミュニティ協議会を目指すには地域の皆さんの協力がなければ、役員がいくら頑張っても実現できません。現在、ボランティアのメンバーは高齢者が多く、今後、安定したスタッフを確保しなければ、現在の活動も継続が困難となります。『できる時に、できるお手伝いを』元気な高齢者および若い人のご協力をお願い致します。ご協力いただける方は、各自治会へご連絡ください。

地域の絆を大切に、誰もが支え、支えられる、明るく豊かな社会を築く原動力、コミュニティの輪は間違いなく地域力であり、まちづくりの力です。



鎌倉地区

ありがとうございます
ごぞいいます



天ヶ沢地区

歩道の除雪は完璧♪安心して登校できました！



舟戸地区

今年度の部活動をふり返って

各部長の「29年度ふり返り・30年度抱負」をご紹介します。

ふれあい事業部 …… 部長 長谷川 尚也 ……



11回目の『山の手地区ふれあい夏まつり』は、新たに制定された祝日『山の日』に試験的に開催しました。お盆に帰省した方にも参加していただくことができ、多くの来場者で賑わいました。しかし、お盆は公私ともに多忙すぎる等の理由から、30年度は例年通り8月の第1週の4日（土）に開催することになりました。

夏まつりの目的「災害の際に、協力し合える地域の絆づくり」の原点に戻り、消防車・救急車の展示や非常食の試食等のご協力をいただきました。30年度は起震車の展示を予定しています。

また、飲食ブースのホコリ対策や、お楽しみ抽選会をより多くの皆様楽しんでいただけるように改善をしました。

今後は、夏まつりをきっかけに、自治会・PTA・各種団体等々、世代を超えたコミュニティ構築を目指して参ります。

ふれあい夏まつりへのご来場、お待ちしております。



夏まつりのステージ風景



賑わう出店風景

健康福祉部 …… 部長 城丸 権一 ……



【健康と実益を兼ね畑作りを】

健康福祉部地域の茶の間『いこてば、こいてば、ふれあい会館』の仲間で大沢公園の近くの荒廃した急傾斜に「いこてばこいてば農園」を作り、玉ねぎ、ジャガイモ、さつま芋を植えました。痛い腰を伸ばし、だんだん畑に向き合い、皆で汗を流し収穫を楽しみに作業に励みました。どんなのがとれるか、ものになるのか等、思いをつぶやきながら草取りにまい進、さて、収穫の時期を迎え、立派にできた玉ねぎやジャガイモに加え、特に大きなさつま芋が取れたのにはびっくりでした。まだまだやれる自分達を再度見直し、よーしこれからも頑張るぞ！と元気をいっぱいもらいました。大沢公園に行った際には「いこてばこいてば農園」をぜひ見てみてください。また、皆でおしゃべりしながらの調理が美味しさを倍増させ、楽しい茶の間のひとときとなりました。しかし、残念なことに我々が苦労して作ったさつま芋の道路脇の一行が約20株、無残にも掘り取られ、心なき人がいることに心が痛みました。

また、1月には移動茶の間として、花の湯館で認知症サポーター養成講座を開催しました。一般の入館者も参加され、約80名の方々がPPK体操をしたり、寸劇で大笑いしたり、たいへん好評でした。これからも身近な問題を取り入れ、健康で楽しく暮らせる地域をめざします。地域の茶の間『いこてば、こいてば、ふれあい会館』への加入はいつでもOKです。皆様の参加、協力をお願いします。



おせち配食事業



地域の茶の間
「いこてば、こいてば、ふれあい会館」



山の手地区敬老会

その他活動

放課後児童クラブ 地域連携事業

この事業は『ふれあいタイム』と名付け、矢代田ひまわりクラブ（放課後児童クラブ）の子どもたちと地域の方々との多世代交流の場となっています。今年度は防災時に役立つ工作やお正月遊び、からだを動かす遊びなどを行いました。



防災防犯部 …… 部長 又地 浩一郎 ……



【念願の防災行政無線稼働】

平成29年度のエポックは何とんでもコミ協念願の防災行政無線が設置されたことでした。説明会も試験放送も終わり、4月からは本格稼働に入ります。

我がコミ協の防災無線は、一般的なものと違いサイレンも鳴ります。スピーカー放送される人の声は、聞こえはしますが内容は聞き取れないことが多いのです。サイレンならば、かすかに聞こえるだけで、誰でも何かが起こったと知ることができます。「さて何が起こったか？」はともかく、「まずは避難準備」を始めていただくようお願いします。

30年度は、サイレンの後に「いざ避難！」となったとき、必要な情報を皆さんに知らせるため、非常連絡網の整備に取り組む必要があります。各自治会で独自の連絡網を持っておられると思いますが、連絡のスピードを上げるための新しい仕組みを作ってまいりますので、ご理解とご協力をお願い致します。



矢代田小学校新入生防犯ブザー配布事業

生涯学習部 …… 部長 五十嵐 順子 ……



10月、東北電力(株)福島の上田水力発電所と第二沼沢発電所の見学に行ってきました。施設の中を案内していただき水の力の強さに驚きました。日本には四季があり、雪のおかげで枯れることのない水を利用した水力発電に改めて電力のあり方を考えさせられました。同じく10月、小須戸コミ協と共同で秋葉区みりょくノートでも紹介されている散歩コースを巡る知学(地学)健康ウォークがありました。矢代田の柱状節理や枕状溶岩、温泉とガスの噴き出し、石油とオイルピットなどを約3時間かけて見て歩き、こんなすばらしいお宝が地元にあったことを知り、もっともっと大勢の方々から見に来ていただきたいと思いました。来年度は旧小須戸町の歴史や謎に触れるまち歩きとして、小須戸地区を歩く予定です。

12月には、ロコモ体操の体験と下越病院による健康チェックを行い、自分の身体を見直す良い機会になったのではないかと思います。また、毎年恒例のレクリエーションダンス講習会もスリッパ卓球大会も大勢の方から参加していただきました。ご協力ありがとうございました。



レクリエーションダンス講習会



知学(地学)健康ウォーク



健康教室～ロコモ体操・健康チェック～

環境部 …… 部長 久保田 秀司 ……



4月に小須戸中1年生、矢代田小3年生、矢代田保育園年長組の約150名の皆さんの協働作業により、花壇やプランターで矢代田駅周辺を花いっぱいにしてもらいました。

5月には『地域と学校ふれあい事業』で矢代田小4年生にふれあい会館の花壇やプランターに百日草など4種類の花を植えてもらいました。この花は毎年秋の敬老会のテーブルを飾ってくれます。植え付け後は『矢代田花の会』『舟戸クラブ花水隊』の方々へ咲き終わるまでの管理をお願いしています。

6月には国道沿いに向日葵の種蒔きをし、11月には『冬でも花いっぱい』運動として、矢代田保育園年長組の皆さんにパンジー等を植えてもらいました。

また、不法投棄撲滅を目指し『住み郷』の支援を受け、山の手地域でごみの回収作業を行いました。なかなか無くなりません。新年度も「花はいっぱい、ごみは無し」の地域づくりを目標に活動する予定です。ご協力をお願いします。



里山不法投棄回収作業



矢代田駅ふれあい花いっぱい運動



ふれあい会館花植え活動

住民バス 社会実験 始まります！

いよいよ**平成30年4月2日より住民バスの社会実験の運行が始まります。**

山の手地区を細かくめぐり、小須戸出張所方面へも運行いたします。地域の皆さんで乗って支える住民バスの愛称は『**山の手ふれあい号**』です。日々の買い物や、通院、通学、JRへの乗り継ぎなどにぜひ、ご利用ください。

社会実験開始式のお知らせ

式典には小須戸中学校の吹奏楽部による演奏や来賓によるテープカットを予定しています。また、小学生以下のお子様によるバルーンリリースも予定しています。風船を飛ばしたいお子さんは14時までにふれあい会館へ集合！先着50名となっておりますので、ご了承ください。住民バスの社会実験開始を、地域をあげてお祝いしましょう！

開始式：4月1日(日) 14:00~14:45(予定) 小須戸地区ふれあい会館前

※式典後、来賓、自治会代表者、運行委員等の方を乗せてバス路線を一周します。

※住民バスの運行表、時刻表、料金などは別途お知らせをご覧ください。

山の手地区住民バス説明会のご案内 住民バス社会実験と本格運行にむけて

【日時】 3月18日(日) 14時~15時(予定)

【会場】 小須戸地区ふれあい会館 和室

【説明会の目的と内容】

平成30年4月2日から平日10便の住民バスの社会実験運行が始まります。それに伴い、運行内容をご説明し、その後の本格運行にむけて住民の皆さんのご意見をお聞きします。

皆さんのご参加をお待ちしております。

※この社会実験は、新潟市の補助事業です。

◆このお便りに関するお問い合わせは・・・

山の手コミュニティ協議会(小須戸地区ふれあい会館内)へ

TEL・FAX 0250-38-3151 休館日 月曜・祝日/開館時間 9:00~21:30

【山の手コミュニティ協議会は新潟市からの補助金を受けて活動しています】